

令和5年度 愛宕中学校グランドデザイン

本校の教育目標

【未来を拓く、創造性豊かな生徒】

・豊かな心をもつ生徒(徳) ・たしかな思考をする生徒(知) ・すこやかな体をもつ生徒(体)

目指す姿

学校の姿

- ◇共に学ぶ喜びがある学校(生徒)
- ◇安心して生徒を通わすことができる学校(保護者)
- ◇共に働く喜びがある学校(職員)

生徒の姿

- ☆夢や目標をもつ生徒
- ☆友達と協力できる生徒
- ☆家庭学習をする生徒

教師の姿

- ◇教育公務員としての自覚と責任をもち、不断に学び続ける教師
- ◇生徒に対する深い愛情と教育に対する情熱をもち、授業で勝負する指導力のある教師
- ◇生徒や保護者、地域、同僚から信頼・尊敬される人間性豊かな教師

年度の重点目標

1 ウイズコロナ下の学校行事の工夫と教育活動の推進

経営の方針

保護者・地域の方の学校に対する思いや願いを真摯に受け止め、愛宕中学校の教育目標へ向かって生徒をよりよく育てることを目的とし、全職員が主体的に連携・協力して学校経営に参画し、組織的な取組を推進することが重要である。

◆感染症対策も3年目を迎え、社会の行動規制はほぼ撤廃され、日常の生活を取り戻している。しかし学校現場では卒業式や入学式も感染症対策を講じた中ででの実施にとどまっている。学級閉鎖の要件もそのままの状況が続いている。感染者数はこのまま減少を続ける中、この3年間で得た教訓を生かして少しでも生徒と保護者にとって満足感と充実感を得られる教育内容の充実と学校行事の工夫が求められている。

◆ほぼ3年間、学年に限定した活動に制限され、異学年集団での体験活動や全校が一堂に会しての学校行事が行われていない。その中、道徳の時間や学級活動の中で工夫しながら思いやりの心や自己肯定感の情勢に意を尽くしてきた。今年から少しずつ新たな日常が回復していくと思われるが、生徒が抱えているストレスは想像以上と考えられる。職員全体で生徒同士の異変をキャッチする感度をさらに上げ、有事の際は組織的な取組を行う。

目指す生徒の具体的な姿

「主体的に学ぶ生徒」

- ①課題意識をもって授業に取り組む生徒
- ②自分の考えを進んで発表できる生徒
- ③自分以外の考えをもとに、自分の考えを深めたり、広げたりできる生徒

「自他を大切にできる生徒」

- ①「いじめは絶対に許されない」という認識をもつ生徒
- ②他者を理解し、協働して課題を解決する生徒
- ③過ちを反省し、繰り返さない努力ができる生徒

「たくましく生きる生徒」

- ①困難を乗り越え目標達成のためにやり抜く生徒
- ②リーダーシップを発揮できる生徒
- ③健康に注意して生活できる生徒

目標達成の重点

「個別最適化な学び」「協同的な学び」の一体的実現を図る学習指導

- ① 「見通し」と「振り返り」を重視した「わかりやすい授業」の一層の充実、授業改善
 - (ア) 「主体的・対話的で深い学び」の視点による学習指導の研究実践
 - (イ) 「本時の課題」「まとめ」を明確に示し、生徒に課題意識を持たせる授業の展開
 - (ウ) 生徒自らの考えを全体に広める場面を設定した授業の構築
 - (エ) 「授業のきまり」の徹底と生徒指導の機能を生かした指導の充実
 - (オ) ICTを活用した指導力の向上

- ② 家庭学習時間の確保、学習習慣づくりと指導の工夫
 - (ア) BYOD(Bring Your Own Device)によるICT教育への対応
 - (イ) 「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習習慣づくりの指導の工夫
 - (ウ) 「毎日、必ず、1時間以上学習する」家庭学習習慣の励行指導

- ③ 充実した一日をスタートする「朝読書」の徹底
 - (ア) 遅刻のない生活習慣の定着と落ち着いた学習環境の醸成
 - (イ) 進んで読書する習慣づくりの工夫

自己肯定感や自己有用感を育てる学年・学級経営の充実

- ① 生徒指導の機能を生かした学年・学級集団づくり
 - (ア) 自己効力感、自尊感情、自己理解力、他者を理解する力、思いやり・共感的理解力を育てる学年・学級指導の充実
 - (イ) 挨拶、返事をしっかりし、時間やルールを守る生徒の育成
 - (ウ) 「いじめは絶対に許されない」という認識を育てる指導の充実
 - (エ) 行事や委員会活動を活用し、他者を理解する力やコミュニケーションスキル、チームワーク、規範意識を育む学級活動の充実